

## I 第32週の発生動向 (2013/8/5~2013/8/11)

- 手足口病については、東地方+青森市保健所管内に新たに**警報**が発令されました。上十三保健所管内では第28週から、八戸保健所管内では第30週から**警報**が継続しています。特に上十三保健所管内では、患者報告数が前週の倍近く増加しており、注意が必要です。
- ヘルパンギーナについては、弘前保健所管内に**警報**が発令されました。むつ保健所管内でも警報レベルに近くなっており、今後の発生動向に注意が必要です。

## II 第32週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点	
小児科 +内科 (85) インフルエンザ															0					
小児科 (74) RSウイルス感染症					17	1.9	1	0.2	1	0.2			19	0.5	4					
(75) 咽頭結膜熱	2	0.3	1	0.1					2	0.3	1	0.3	6	0.1	4			2	0.3	
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0.4	4	0.4	15	1.7			3	0.5	1	0.3	26	0.6	1			3	0.4	
(77) 感染性胃腸炎	22	2.8	7	0.8	4	0.4	10	2.0	3	0.5	12	3.0	58	1.4	10			22	2.8	
(78) 水痘	2	0.3	1	0.1	7	0.8	1	0.2	3	0.5	4	1.0	18	0.4	-14			2	0.3	
(79) 手足口病	46	5.8	11	1.2	67	7.4	5	1.0	84	14.0	10	2.5	223	5.4	98			46	5.8	
(80) 伝染性紅斑			1	0.1									1	0.0	0					
(81) 突発性発しん	2	0.3	4	0.4	2	0.2	1	0.2	9	1.5	1	0.3	19	0.5	9			2	0.3	
(82) 百日咳			1	0.1					1	0.2			2	0.0	2					
(83) ヘルパンギーナ	29	3.6	64	7.1	5	0.6	1	0.2	14	2.3	22	5.5	135	3.3	44			29	3.6	
(84) 流行性耳下腺炎	8	1.0	8	0.9				2	0.4	1	0.2	11	2.8	30	0.7	13			8	1.0
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0					
(87) 流行性角結膜炎	3	1.5			1	0.5	1	1.0					5	0.5	2			3	1.5	
基幹 (92) クラミジア肺炎															0					
(93) 細菌性髄膜炎															0					
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	3	3.0					1	1.0	5	0.8	-2					
(96) 無菌性髄膜炎															0					

は警報 は注意報。「空欄」:患者発生無し。

## III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

(10) 結核(二類全数把握疾患):青森市4人、弘前1人、上十三1人(2013年計:199人)

## IV 病原体検出情報 ( )内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・上気道炎患者1名(咽頭ぬぐい液、直腸ぬぐい液、7/21)・・・**コクサッキーウイルスB3**:弘前(1)
- ・下気道炎患者3名(鼻汁、6/28~7/18)・・・**ヒトボカウイルス、ライノウイルス及びヒトメタニューモウイルス(hMPV)**:八戸(1)、**RSウイルス**:八戸(1)、**hMPV**:むつ(1)
- ・ヘルパンギーナ患者1名(咽頭ぬぐい液、7/25)・・・**コクサッキーウイルスA5**:弘前(1)

# 感染症の窓

## 手足口病 (五類定点把握疾患)

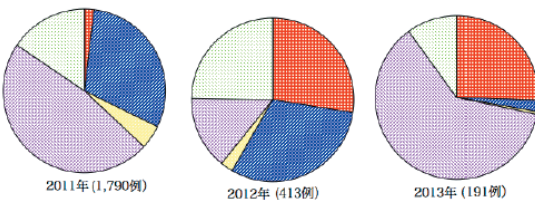


図 国内の患者から検出されたエンテロウイルス(2011~2013年7月18日現在)

手足口病は、ピコルナウイルス科エンテロウイルス属のウイルス感染により、口腔粘膜、四肢末端に現れる水疱性の発疹を主症状とし、乳幼児を中心に夏季に流行します。2013年の全国の発生動向は、大流行した2011年に次いで、過去10年間で2番目に多くなっています。県内でも、東地方+青森市、八戸、上十三保健所管内に警報が発令されています。

病原体は例年、主にエンテロウイルス属のコクサッキーウイルス(CV)A16型とエンテロウイルス71型が患者から分離されていますが、2011年には、ヘルパンギーナの主要な原因ウイルスのひとつであるCVA6型が最も多く検出され、2013年もCVA6型が多くなっています(図)。

CVA6型による手足口病の症状は、従来より水疱が大きく大腿部や臀部にも出現すると報告されています。(参考:IASR2012年3月報、IDWR2013年第28週報)

感染経路は、飛沫感染、接触感染、患者の便の汚染による糞口感染です。予防には手洗いの励行と排泄物の適切な処置が大切です。

厚労省のホームページには、Q&Aが掲載されています。

(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/hfmd.html>)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況

2013年第18週～第32週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
18	H25.4.29 ~ H25.5.5			劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人			
19	H25.5.6 ~ H25.5.12						
20	H25.5.13 ~ H25.5.19	梅毒1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	E型肝炎1人			
21	H25.5.20 ~ H25.5.26	アメーバ赤痢1人		つつが虫病1人		つつが虫病2人 風しん1人	
22	H25.5.27 ~ H25.6.2	侵袭性肺炎球菌感染症1人	バンコマイン耐性腸球菌感染症1人	つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人 風しん1人	つつが虫病1人 風しん1人		
23	H25.6.3 ~ H25.6.9		破傷風1人				
24	H25.6.10 ~ H25.6.16		つつが虫病1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人	つつが虫病1人		
25	H25.6.17 ~ H25.6.23		つつが虫病1人	つつが虫病1人			
26	H25.6.24 ~ H25.6.30		つつが虫病2人 クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
27	H25.7.1 ~ H25.7.7	腸管出血性大腸菌感染症2人	腸管出血性大腸菌感染症2人	腸管出血性大腸菌感染症1人	つつが虫病1人	つつが虫病1人 風しん1人	腸管出血性大腸菌感染症1人
28	H25.7.8 ~ H25.7.14	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症3人			腸管出血性大腸菌感染症2人	
29	H25.7.15 ~ H25.7.21	つつが虫病1人					
30	H25.7.22 ~ H25.7.28		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人 レジオネラ症1人			
31	H25.7.29 ~ H25.8.4		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		
32	H25.8.5 ~ H25.8.11						

VI 結核(二類全数把握疾患)

2013年第25週～第32週

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
25	H25.6.17 ~ H25.6.23	1		1		1	1
26	H25.6.24 ~ H25.6.30	2	2	2		2	
27	H25.7.1 ~ H25.7.7	3	1	3			
28	H25.7.8 ~ H25.7.14		1	1			2
29	H25.7.15 ~ H25.7.21	1	1	1	1	1	
30	H25.7.22 ~ H25.7.28	1		3	1	1	
31	H25.7.29 ~ H25.8.4	1	1	1	1	2	2
32	H25.8.5 ~ H25.8.11	4	1			1	

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2013年第1週～第30週累計)

分類	二類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキソコックス症	オウム病	Q熱	コクシジオイテス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マリア	ライム病	
累積報告数	1	14827	1	80	1379	33	34	75	90	11	6	3	3	29	8	139	107	57	2	24	4	
分類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クアトスホリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵袭性インフルエンザ球菌感染症	侵袭性髄膜炎	侵袭性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	髄膜炎	
累積報告数	2	534	6	581	158	240	10	115	131	872	42	53	14	484	9	651	71	33	13344	175	2	

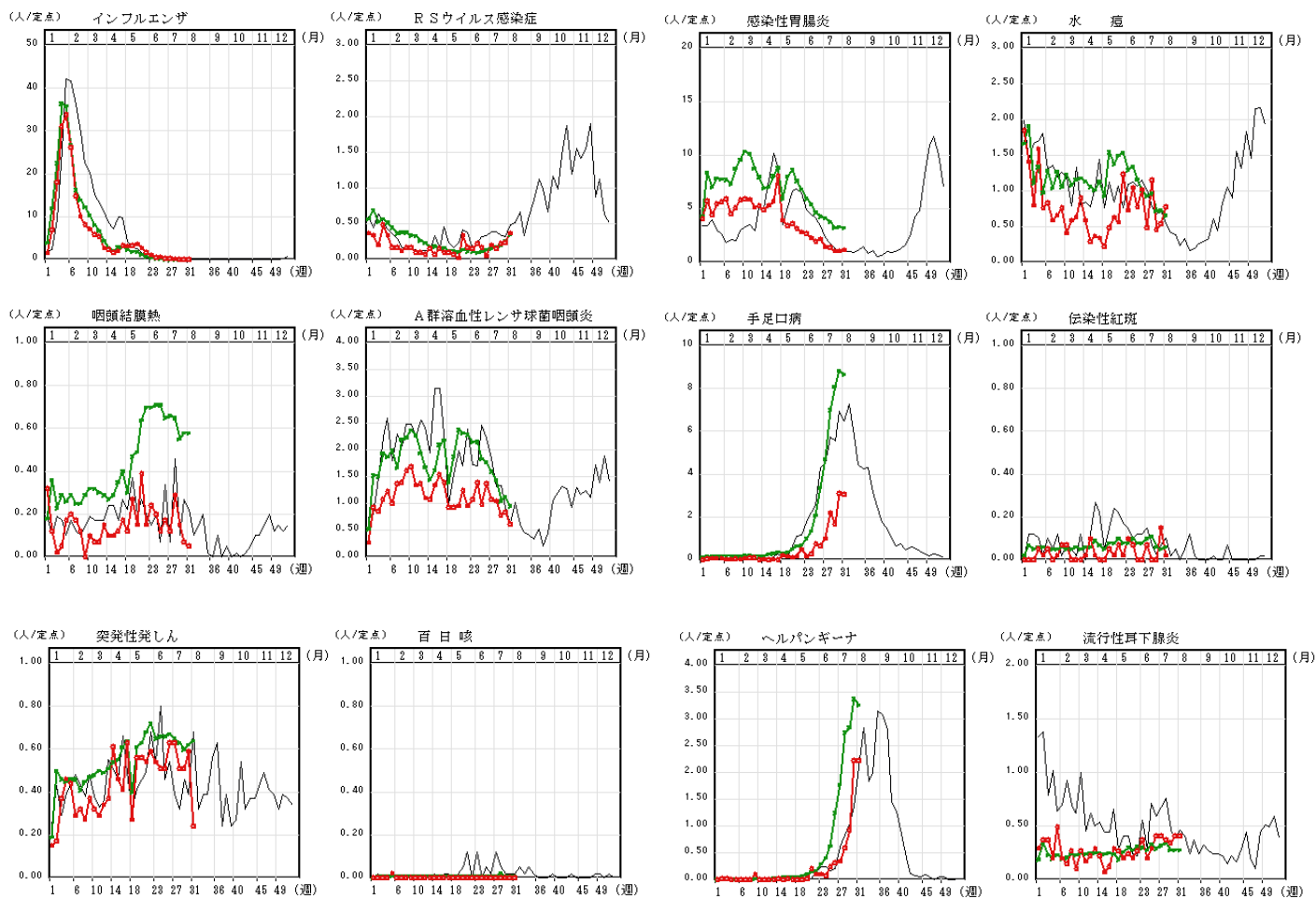
青森県 (2013年第1週～8月12日15時00分累計)

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵袭性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん
累積報告数	199	34	2	16	2	2	2	2	1	2	1	1	1	1	8

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

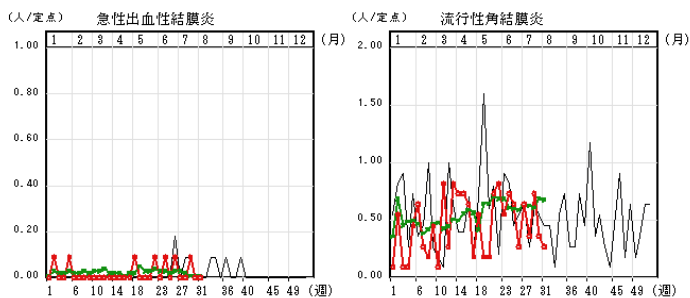
2013年第31週

グラフの説明 ○—○は2013年青森県、—は2012年青森県、×—×は2013年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移

2013年第31週



X 基幹定点把握疾患週別推移

2013年第31週

